緑が丘中学校　学力向上プラン

令和８年９月～令和９年７月

Ⅰ　グランドデザイン

学校教育目標　　自ら進んで学び、社会性と高い志をもった生徒の育成
学校経営スローガン　『４つの合い』認め合い・支え合い・学び合い・高め合う集団の育成

具体的な目標
○自己肯定感を感じている生徒の割合…５０％以上
○将来の夢や希望をもった生徒の割合…５０％以上
○学力調査結果における正答率　全領域で、国、県、市の**平均を上回る**

伸ばしたい力
○基礎基本的な知識・技能　　○思考・判断・表現力　　○主体的な学習態度と協働意識

授業改善を中心とした取組
【個別最適化・協働的な学びの場面設定】
○タブレットＰＣの有効活用による効果的な指導の推進
○授業の中で「個」の意見を交わし、異なる意見を通して考えを深めさせる場を設定する。
○「めあてとまとめの提示」と「自己評価表の工夫」の実行

キャリア教育の充実
○生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進し、学習する目的を考えさせ、学習意欲の高揚につなげる。
・「総合的な学習の時間」を中心とした３年間の系統性の確立
・「生き方」「社会の一員」についての意識の高揚（道徳科、総合的な学習の時間の体験的学習）

規律あるムード
○「規律」「自治力」の育成
・始業１分前の黙想　・「無言清掃」の徹底
・いじめ防止対策の推進
○家庭と連携したメディア依存防止啓発の推進

安心できる環境
○特別支援教育の視点を取り入れたサポート体制の整備
○ＳＣ、相談員などを含む相談体制の整備
○学校経営スローガン『４つの合い』の具現化（授業・短学活での取組）

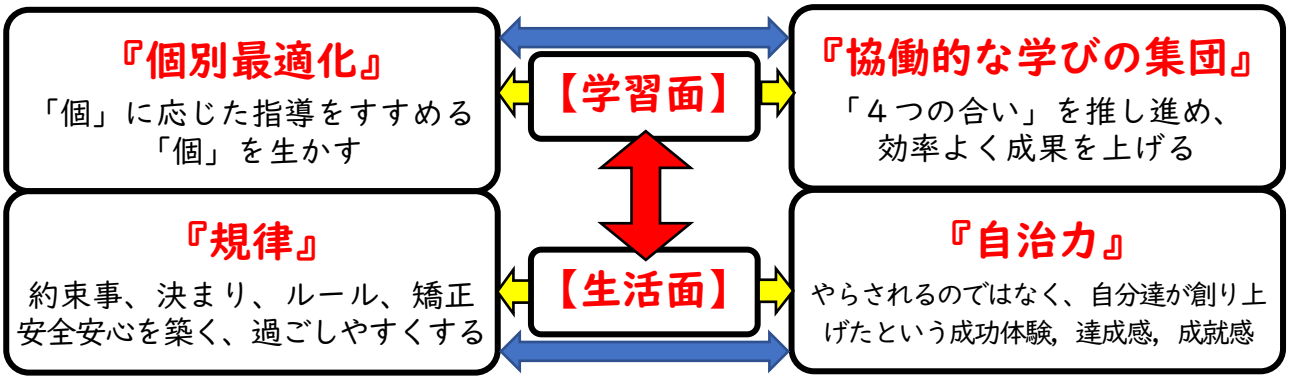
Ｒ８学力調査（国・県・市）の結果から
・３年生　国語は市県全国平均とほぼ同じ
　　数学は市県全国平均を上回っている。
　　英語は市と県の平均とほぼ同じで、全国平均をやや下回っている
・２年生　国語は市と県の平均とほぼ同じ
　　数学は市と県の平均を大きく下回っている
・１年生　国語は市と全国の平均を少し下回っている
　　数学は市と全国の平均を大きく下回っている

意識調査結果（全国学力調査における質問紙調査結果から抽出）

自分には良いところがある	R3 25.7%	R4 25.3%	R5 40.6%	R6 32.6%	R7 35.5%	R8 51.9%
将来の夢や希望がある	R3 31.4%	R4 34.9%	R5 44.8%	R6 25.8%	R7 23.7%	R8 46.1%

2　重点努力事項

・４つの項目をつなげ、相互作用により、効率よく成果を上げることを目指す。
・「ソーシャルスキル（コミュニケーションスキル）」を高めることにより、さらなる向上を図る。



3　生徒指導の実践上の４つの視点を踏まえた授業づくり

①自己存在感の感受

「自己存在感の感受を促進する授業」
「生徒一人一人に学ぶ楽しさや達成感を味わわせる授業」

◎「自分も一人の人間として大切にされている」という自己存在感や、「他者のために役立った、認められた」という自己有用感を育む。
・授業に意欲を見せない生徒や学業が振るわないような生徒にも学習に向かえるように配慮する。
・生徒の実態を把握し、授業の「どの場面」で「どの生徒」を「どう生かすか」について工夫する。

②共感的な人間関係の育成

「共感的人間関係を育成する授業」
「お互いに認め合い、支え合い、学び合い、高め合うことができる授業」

◎失敗を恐れない、間違いやできないことが笑われない、むしろなぜそう思ったのか、どうすればできるようになるのかを皆で考えるような、互いに認め合い、支え合い、学び合い、高め合う人間関係を育成する。
・生徒一人一人を受け入れる、褒める、そして人間性を認めながら指導する。
・教師主導ですすめる場面、生徒のテンポに合わせながら進める場面、実情実態に応じて見極めながら授業展開する。

③自己決定の場の提供

「自己決定の場を提供する授業づくり」
「生徒が自ら課題を見つけ、それを追求し、考え、判断し、表現することができる授業」

◎自らの意見を述べたり、観察・実験・調べ学習等において自己の仮説を検証しレポートにまとめたりすることを通して、自ら考え、選択し、決定する力を育成する。
・思考場面でどのような方向から考えるか、観察場面でどのような視点で観るか、具体を示す。
・自分の考え（思考過程）や観察の結果（観察過程）が分かるようなノートの取り方を指導する。

④安全・安心な風土の醸成

「安全・安心な『居場所づくり』に配慮した授業」
「生徒が安心して学ぶことができる授業」

◎信頼できる教師、いつもそばにいてくれる仲間によって個性が尊重され、一人一人の心の居場所があり安全かつ安心して学べる人間関係を育成する。
・授業規律やルールの意義及び価値を学び、規範意識を育成する。
・他者の人格や人権を貶める言動、いじめ、暴力行為等に対しては毅然とした態度で指導する。